

放課後等デイサービス自己評価 結果報告 (令和4年3月)

放課後等デイサービス野花

	チェック項目	はい	どちらとも言えない	いいえ	改善目標 工夫している点等
環境・体制整備	1 利用定員は指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・座って行う活動では机と椅子で行うように心掛けている。その際も集中できるよう人数を減らしたり工夫している。 ・法定基準の倍近い面積を満たしている。 ・1階と2階で分かれている事で、分散した際に十分なスペースが保証されているが、一つにまとまる事で窮屈に感じる事がある。ただ、全員が同じ部屋で活動をする事がないため、十分なスペースが確保されているように感じる。
	2 職員の配置や専門性は適切であるか	75%	25%		<ul style="list-style-type: none"> ・専門分野の資格保有者も多く、現場経験を通しての専門性があれば事前に学習しさらに他の職員へ引き継ぎたくさんの職員が対応できるようにしている。 ・管理者・主任がいて、指導員や非常勤・学生アルバイト等適切な人数が現場で配置されている。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置、必要に応じたバリアフリー化の配慮など適切になされているか	50%	50%		<ul style="list-style-type: none"> ・必要箇所には、手すりの設置など設置ができていると思う。 ・スロープはなく、段差も存在しているが、歩行に不安のある児には職員が移動の際に見守りを行っている。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・行った支援に対して、職員会議で進捗を話し、必要な改善を行いながらより適切な支援を心掛けている。 ・職員会議や支援会議の場で職員で話し合い、実行して再度会議の場で皆で取り組んでみての結果・次はどうしていくかを話し合い改善・よりよい支援に向けて取り組んでいる。
	5 保護者向け評価表等アンケート調査を実施して保護者の意向を把握し、業務改善に繋げているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートの集計を職員会議で話し改善している。 ・保護者アンケートの結果をまとめたものを全体周知し、確認し合っている。 ・定期的に保護者向けアンケートを実施し、結果を職員全員で共有している。
	6 この自己評価の結果を、お便りやホームページ等で公開しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページに載せて公開している。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・ガバナンス等の外部評価機関を利用して行く。現在手続き中。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・他法人と比べても、研修の数は年間を通して多いと思う。 ・法人内研修・外部研修を受けれるように配慮されている。さらに保護者にも研修を行い、職員も参加できるように配慮されている。 ・定期的に色々な内容の研修の場を設けてくれている。職員の資質向上の機会を確保している。 ・法人内外の研修を定期的に行っており、その他自主的に関心のある研修に参加する等し、知識の向上に努めている。

適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・支援会議を実施し実際の事業所内での子どもの様子や保護者からのニーズや課題を踏まえ、個別支援計画を作成している。 ・数種類のアセスメントの様式を用意し、最適なものを使用している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	50%	25%		<ul style="list-style-type: none"> ・視覚写真を増やし、子どもが理解できるように配慮している。 ・適応行動尺度を使用。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・起案から改善までチームで取り組む事が出来ている。 ・起案した後に主任に確認してもらい、その後チーム全体での起案書の確認・話し合いを行っている。 ・毎月の活動概要を職員全員で話し合いの上決定し、担当者が起案書を作成後に再度、全員で確認を行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・職員全体で確認する日を毎週決めている。 ・起案書作成の際にチーム全体で共有・把握しているため活動の固定化や偏りがあつた際には指摘し合っている。 ・月ごとに活動概要を全員で話し合い決定しており、偏りがないようにしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じ、課題を決め細やかな支援を行っているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・コロナで利用を自粛している方には家庭で出来る支援を提供している。休日は利用時間が長いのを利用し調理クラブを作り調理を行っている。 ・活動時間や活動内容を平日・休日・長期休暇に合わせて起案書を作成している。
	14	子どもの状況に応じ、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて個別支援計画を作成しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・個別で子どもに自立通学の練習をしている。 ・毎日の振り返りで出た情報の中から、個々の個別支援計画の内容に関するものを抜粋し、個別支援計画を作成している。
	15	支援開始前に職員間で必ず打ち合わせをし、支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・支援前に職員でミーティングをし活動の目的や業務内容を確認している。その後非常勤へも連絡を行っている。 ・毎朝のミーティングで必ず打ち合わせしている。法人内研修等で難しい場合は、午後の支援開始前に打ち合わせをしている。 ・毎週金曜日に翌週の活動について確認と、毎朝のミーティングで利用する子ども、送迎の確認、活動の内容、目的、担当職員の配置についても確認を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・当日起きた事を支援終了後に話し合い記録している。 ・支援終了後に毎日のミーティングで気づいた点等をチーム全体で共有・振り返りしている。 ・毎日、振り返りを行い、気になる点や課題については情報共有を行っている。
	17	日々の支援に関し正しく記録をとる事を徹底し、検証・改善に繋げているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・有った出来事をそのまま記録をとるようにしている。改善すべき事項があれば、職員会議で議題に挙げる等、問題が漏れないようにしている。 ・子どもが出来た事や出来なかった事を日々の申し送りで話をし活動の改善を心掛けている。 ・毎日の振り返りをデータに残し、毎週の職員会議で

					共有・改善に向けて取り組んでいる。 ・毎日の振り返り時に日報を作成し、週1回の職員会議で特に気になる点、課題等を抽出し、話し合いを行っている。	
	18	定期的にモニタリングを行い個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%		・定期的にモニタリングを行い、情報共有をしている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	75%		・基本的日常生活動作や自立生活を支援するための活動や、創作活動等基本活動を組み合わせて支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携	20	学校との情報共有（年間予定下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡等）を適切に行っているか	100%		・事業所での困り事があれば学校での様子を送迎時間くようにしている。下校時間は学校又は保護者へ予定表を頂くようにしている。 ・年間予定表の連絡調整や送迎時の際の申し送り等で情報共有、学校等の関係機関との連携を行っている。	
	21	相談支援事業所のサービス担当者会議に子どもの状況に精通した者が参画しているか	75%		・各事業所管理者陣が参加している。 ・児童発達管理責任者が出席している。	
	22	就学前に利用していた保育園・児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	75%		・利用するにあたって情報共有を行っている。	
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	75%		・相談支援事業者を含めた情報共有を行っている。	
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	75%		・定期的に研修に参加し、助言を頂く場を設けている。	
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	25%	50%	25%	・コロナ禍という事もあり、交流する機会はなかなか無い。 ・市内で行われているイベント(焼き物づくり)等への参加がある。現在はコロナで自粛。 ・現在はコロナ禍で外へ出る機会も少なくなったため、交流の機会は無くなっている。 ・コロナの影響もあり、事業所外との交流機会は無かった。
	26	自立支援協議会へ積極的に参加しているか	50%	25%		・各事業所管理者が参加している。
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%		・日々保護者と申し送りをし問題があれば報告・相談をしている。保護者より要望があればチームで話し合い活動に組み込んでいる。管理者と保護者の面談も行っている。 ・日々の申し送りの際に、今日行った活動や姿、また最近の気になる様子等を話し合う中で、家庭での状況・課題等の保護者が感じている困り感の共有を行っている。直接お話しできない場合でも保護者が連絡帳に記載してくれているため、情報の共有を行っている。 ・毎日の送迎時に活動の様子等をお伝えしたり、気に	

					なる点があればその都度連絡を取る等し、対応について保護者と話し合いを行っている。また、日々の様子や気になる点等も気軽に情報交換できるよう、連絡帳を取り入れている。
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者支援（研修）の場も、年々増えている。 ・保護者向けに研修を行っている。その研修へ職員も参加できる。 ・定期的に保護者に対してのペアレント・トレーニングや保護者研修を行っている。
保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	50%	25%	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者が丁寧な説明を行っている。
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者より相談があれば事業所に持ち帰り回答を出している。また連絡帳で職員と保護者が連絡を取れるようにしている。 ・その場でお答えできる内容に関してはお答えし、難しい場合は一度事業所へ持ち帰り、管理者や主任等に相談・指示を仰ぎ、適切な対応を心掛けています。
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・親の会があり、茶話会等もやっている。 ・定期的に開催し、保護者同士の連携を支援している。 ・保護者研修会や茶話会を実施するなどし、保護者同士の連携支援を行っている。
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・管理者や主任、携わった職員等が迅速かつ適切に対応している。
	33	定期的にお便り等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月お便りを発行している。行事の予定も記載している。 ・毎月、活動内容や行事の予定・準備物等を記載したお便りを保護者へ発行している。 ・毎月、お便りを発行し活動内容を紹介したり、翌月の活動予定のお知らせも行っている。
	34	個人情報に十分注意しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報が記載されているものはシュレッダーにかけている。走行表も車の外から見えないように注意している。 ・事業所内で知りえた情報は外部へ漏らさないように心掛けている。 ・不要になった情報は簡単なメモであっても必ずシュレッダーにかけて破棄するようにしている。
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・視覚支援カードを使ったり、壁の掲示も文字ではなく絵表現するようにしている。 ・日々子どもと関わる中でどのように伝えれば分かりやすいか、どうすれば伝わるのかを意識し日々配慮しながら支援に携わっている。 ・発語が無い子にはジェスチャーなどを交えて話をしたり、視覚写真を用いるなどし、その子に合ったコミュニケーションをとっている。
36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	50%	25%	25%	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナが流行する前は地域交流カフェを開き地域住民が参加できる場所があった。 ・現在はコロナ禍で出来ていない。

					<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響もあり、地域住民と交流をする機会は全く無かった。
非常時の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	75%	25%	<ul style="list-style-type: none"> ・職員への周知は出来ているが、保護者への周知はなかなか出来ていない現状があるため、今後、お便り等を通して、機会を作っていきたい。 ・マニュアルに沿って防災訓練を開催し職員に周知している。感染症の対策を保護者へ資料で提供している。 ・保護者から「マニュアルが知りたいです」との声を頂いたため、お便りやお知らせ等で周知出来るようにしている。また、事業所内でも各所にマニュアルを貼付している。
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者も含め地震・津波・火災の避難訓練を年3回ほど開催している。 ・火災訓練や避難訓練等、職員・利用者踏まえた訓練を活動の中に組み込んで定期的に行っている。 ・災害時の対応について各職員の担当を一覧にし配布。訓練について年間計画を作成し、定期的実施している。
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・法人内研修をしたり虐待防止マニュアルを職員会議で読み合わせている。 ・研修だけでなく、職員会議で月1回虐待防止チェックリストの読み合わせを職員全体で行っている。
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束が必要になる子がいれば、保護者へ事前に内容を説明し了解を得ている。10分以上の拘束があれば記録するようにしている。 ・事業所を利用される際に保護者へどのような際に身体拘束を行うか説明している。また、その内容を職員間で周知している。
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・子どものアレルギーに関して職員全体に周知を行い、おやつ・昼食の提供は徹底している。 ・保護者からの情報を基にアレルギーに関しては把握し、昼食内容によってはお弁当の持参をお願いしたり、おやつはアレルギー食品を使用していないものを用意している。
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・以前よりも、ヒヤリハット報告がたくさん出るようになった。 ・ヒヤリハットがあれば週一回の職員会議で読み合わせをし解決策を検討している。ファイルを作成し職員全員が閲覧できるようにしている。 ・ヒヤリハット報告書を作成し、週1回の職員会議の場で共有している。 ・ヒヤリハットが起きた際には情報を共有し、報告書を作成した後にまた全員で今後の対応を含め話し合いを行っている。